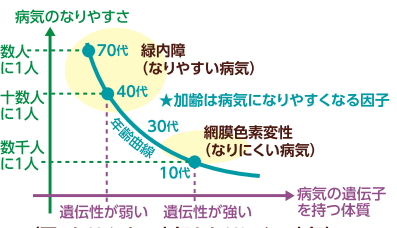




疫学は、公衆衛生の分野で発達してきた学問で、病気になる原因やその傾向を分析し、有効な対策を練るための医学です。その昔、疫学研究は感染症や伝染病から国民を守るのが目的でしたが、現在では高血圧や糖尿病など増え続ける慢性疾患に対して貢献するよう期待されています。

病気にはなりやすい病気となりにくい病気があり、個人の体質や親から受け継いだ遺伝情報、それに生活する環境が関係します。眼科の病気を例に挙げてみると、緑内障と網膜色素変性症は、どちらも網膜や視神経が慢性的に傷んで失明する神経の変性疾患です。しかし、緑内障は加齢と共に

患者の数が増えるなりやすい病気、網膜色素変性は若い頃から病気が進行する遺伝性が強くてなりにくい病気と言えます。



〈図〉なりやすい病気となりにくい病気

液サンプルから遺伝子解析を行い、得られた遺伝情報を集めて、病気の成り立ちや病気のなりやすさを調べていきます。

関西は神戸を中核に先進医療を行う医療特区が、東北にはメディカルメガバンク機構があります。ここでは、診療と疫学が密に連携し、得られた情報から患者さんの病気の状態を判定して、病気をなおさる一番有効な治療方針を見つける役割を担っています。同じ病気でも、一人一人の状態は千差万別ですから自分に合った個別化治療ができるのは理想です。自分が緑内障、或いは網膜色素変性になったら、そのとき一番有効な治療が何なのか分かれれば、慢性疾患であっても患者さんは希望が持てるのです。

（院長・伊田 直史）

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

# 伊田眼科クリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30	○	○	○	○	○	○	△
12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30	○	手術	○	○	○	○	△
18:30	○	○	○	○	○	○	△

【休診日】木・土曜午後  
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階

<http://www.ida-ganka.com>

